

会 議 概 要

会議の名称	第4回伊予市食育推進会議
開催年月日	平成25年8月29日(木)
開始・終了時刻	午後3時00分から午後4時45分
開催場所	伊予市保健センター
会長氏名	坂本勇人
副会長氏名	吉澤三千久
出席委員(者)氏名	坂本勇人、吉澤三千久、佐々木典彦、久保井 誠、高岡小夜子、小西千鶴子、竹内貴俊、松本洋子、亀田尚樹、吉永智一、西影永治、玉井 彰、岩村正雄(代理出席 大内清俊)、西田香織、島川都季子、森 道子、森 敏郎、早田 亮、武田淳一、鶴岡正直、山下佳宏、福岡保裕、米井 司、海田秀司、米湊誠二、田中 浩、出来和人
欠席委員(者)氏名	松浦義憲、谷本圭司、森 史織
傍聴者氏名	傍聴者なし
説明者の職氏名	山内主査、戸田主任
事務局職員職氏名	亀岡健康増進課長、室主幹、山内主査、戸田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付(補欠委員) 3 市長あいさつ 4 委員自己紹介 5 事務局職員自己紹介 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 食育推進連絡会報告 (2) 各団体からの取組及び食育に関する意見について (3) 食育フェスタ・食育コンテストについて (4) 各団体の取組に関する意見交換等 7 その他 8 閉会
配布資料	資料1 伊予市食育推進連絡会報告 資料2 平成25年度食育の取組及び食育推進についての意見 資料3 食育フェスタ・食育コンテストについて

会 議 録

発言者	会議の概要
<p>15：00～ 開会宣言 司会</p>	<p>ただ今から、第4回伊予市食育推進会議を開催させていただきます。皆様には、ご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は、補欠委員の委嘱状の交付の後、議事へと進めさせていただきます。</p> <p>なお、本会議は、伊予市審議会等の委員の公募並びに会議及び会議録の公開に関する規則にのっとり、市政の公正の確保と透明性の向上のため原則公開とし、会議内容についても議事録作成のため録音させていただくとともに、市ホームページに会議録を掲載させていただきますことをご了承願います。また、会議録作成後、録音は消去します。</p> <p>欠席、代理出席の方々について報告します。本日、谷本委員さん、松浦委員さん、森委員さんがご欠席ということでご連絡をいただいております。岩村委員さんに関しましては、代理ということで、大内教頭先生においでをいただいております。</p> <p>それでは、このたび伊予市食育推進会議委員をお引き受けいただきました皆さまに、委嘱状及び辞令の交付をさせていただきます。</p> <p>本来であれば、委員の一人一人に直接委嘱状をお渡しすべきところですが、時間の制約もありますので、代表の方にお受け取りいただきたいと思っております。それでは委員を代表されまして、久保井誠様その場でお立ちいただき、お受け取りいただきたいと存じます。それでは武智市長、よろしく願います。</p>
<p>市長 司会</p>	<p>委嘱状交付</p> <p>ありがとうございました。なお、他の補欠委員の皆さまの委嘱状及び辞令は、お手元に置かせていただいておりますので、ご了承のほど願います。委嘱の期間でございますが、平成25年度末までの期間となります。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、伊予市長 武智邦典より、ごあいさつを申し上げます。</p>
<p>武智市長</p>	<p>市長あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。幾分朝は涼しくなりましたが、まだ日中は暑い状態です。そんな中、本日は食育推進会議第4回目ということでございますけれども、それぞれ皆様公務お忙しい中、またご多用中の中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。そして今回、8人の方々が新たにこの推進会議に入っていたと聞いております。併せてよろしく願いをいたしたいと思っております。また、皆様には平素よ</p>

	<p>り、保健福祉行政に対しまして、一層のご協力を賜っておりますことも、併せましてお礼申し上げます。</p> <p>さて、食育と言いましてもなかなか奥が深いものでありまして、わたくしも、食育というものを調べてみますと、知育、徳育、体育を司るものが食育であるとしてあるホームページもございました。</p> <p>先般、中学生の海外派遣の交流で、5 日程アメリカのオレゴン州に行かせていただきました。その時、わたくしは日本人に生まれてよかったなど感じることもありまして。アメリカの食を否定するわけではないんですけれども、このような食事を毎日食べていたら、肥満になってしまうであろうという食生活を 5 日間経験いたしました。そして、帰国した翌日には日韓交流ということで、「食文化と健康」というテーマで、湊町のさざなみ館に於きまして、韓国のイ先生と、日本の門田先生二人が日本の食材、そして韓国の食材を使って、食文化や料理の交換をし、それを試食させていただきました。本当に食というのは幅広いなあと、そのようにも思っております。</p> <p>伊予市におきましても、食育推進計画「い～よ！いよしの食育物語」が策定されて 2 年、キッズキッチン、食育フェスタ等々皆様方には大変お世話になっております。その中で、特に子どもたち成長期からの食べる食材が人間を司るんだなあと思っております。</p> <p>また、我々の年代におきましても、本当に食の大切さが、最近ひしひしとわかってきました。</p> <p>伊予市ではゲートキーパーの養成、うつ病になりかけている人を仲間たちが助けるといような取り組みをしているんですけど、色々勉強してみると、食材によって気持ちが病んだり、朗らかになったりすること書いておりますので、非常に食というのは大切なことだと認識をいたしております。</p> <p>その中で本日は、皆様方が今までそれぞれの専門分野で培った知恵や意見を交わしていただいて、実りのある会にさせていただきたいと思っております。</p> <p>最後になりましたが、この食育推進会議の益々の発展とそして、ご参集の皆様方の御健勝、御活躍を心よりご祈念いたしまして、あいさつに代えさせていただきます。</p> <p>本日はご出席、本当にありがとうございました。</p>
司会	<p>それでは続きまして、恐縮でございますけれども、委員と委員の代理の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。お手元にお配りをいたしております委員の名簿がございます。席に座っている順にお願いをいたしたいと思います。それでは、恐縮ですが、席順で坂本先生からお願いをいたします。</p>

全出席委員（者）	委員が名簿順に自己紹介をする
司会	それでは、事務局職員が自己紹介をします。
全事務局職員	職員が自己紹介
司会	<p>それでは、武智市長におかれましては、他の公務がございまして、ここで退席いたします。ご了承いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>議事に入ります前に、資料のご確認ですが、会議資料を各委員さんに事前にお送りさせていただきまして、ご持参いただくようお願いいたしておりましたが、お持ちでない委員さんがございましたら、お知らせください。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この後の議事進行につきましては、食育推進会議条例第6条の規定に基づき会長が議長を務めることとなっておりますので、坂本会長さんをお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、会次第に沿って議事を進行させていただきます。</p> <p>議題（1）食育推進連絡会報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料1 伊予市食育推進連絡会報告
議長	ありがとうございます。何か質問はございませんか。
委員	報告2の一般書について。一般書というのは、親御さんに読んでいただくというので用意しているのでしょうか。
事務局	一般書は、親御さんもですし、図書館ですので、いろんな年齢層の方がいらっしゃいますので、図書館に来た方対象ということで、大人の本として準備しています。
委員	一応テーマは、子どもの食育関係の本に触れる機会を増やすということで、この一般書を書かれています。美容にスポットを当てたものを選書して美容関連のものが多く貸し出されたというのは、ちょっと具体的にはどういうことなのですかね。食とやっぱりつながっているということなのでしょうか。
事務局	この、美容にスポットを当てたものを選書したというのは、直接食育とは関係ないかもしれないのですが、並べてみたところ、こちらのほうが人気があったということでした。
委員	直接は関係ないということですね。分かりました。
議長	他、どなたか。はい、どうぞ。
委員	この食育の具体例ですけれども、かなりこの1、2年で進んだなと思います。お願いをしたいのが、例えばキッズキッチンに関しては、キッズキッチンを経験した子どもたちが、好き嫌いがこれからどうなっていくとか、体験しなかった子たちとの比較において、どのような変化が見られるかというような、この食育推進の成果が、何か資料的なものとし

	て残せるといいなど。本人、そして保護者にアンケートを取って、そういう結果が出されると、成果として残るのではないかと思いますので、お願いいたします。
議長	いい意見だと思いますが、事務局どうでしょうか。
事務局	ご意見いただきましたので、キッズキッチンはまだ10月からスタートするのですが、実施後にアンケートをとって、成果として皆さんに発表したいと思います。
議長	それでは、議題(2)に移りたいと思います。各団体からの取組及び食育に関する意見について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2を見てください。事前に各団体から、取組や食育に関する意見をいただきまして、資料にまとめました。それでは、ごしきの里の吉澤さんから順番に、内容について簡単にご説明いただきたいと思います。よろしくをお願いします。
伊予市ふる里市・ ごしきの里	<p>ごしきの里はふる里市なので直販であります。高齢化がすすんでおりまして、できるだけ地元産農産物を扱いたいのですが、今日出荷できたのに明日は出荷できないというくらい、年をとっておりまして、なかなか苦戦はしております。ただ、あまりそこにこだわらないで、おいしいものは生産地の範囲を広げて、内子あたりからも取り寄せるようにして、出来るだけ、消費者においしい果物、野菜を提供しています。</p> <p>食の安全については、以前、海外で餃子のなかに毒が混入されたという事件もありましたが、そういうことはだんだん忘れてきてしまっているようなので、再度、ごしきの里で掲示物を出したり、食の安全についての啓発などにも取り組んでいます。</p> <p>子どもや高齢者向けにお菓子教室や料理教室をするということもしています。</p> <p>消費者の中で、新しい食材。特にゴーヤや茎ブロッコリー、中国野菜などの食材の使い方が分からないという意見があるので、料理のレシピや使い方も掲示しながら利用していただきたいと思います。</p> <p>食育に対する意見としては、はっきりとしたデータがあるわけではないのですが、高齢者のお弁当を配達している職員の方にお聞きしますと、だんだん1人暮らしの高齢者へのお弁当配送が多くなっていると聞きます。お弁当のメニューを見ると、同じようなメニューが回転しているように思います。できたら、簡単にできる真空パックにしたような食品の開発を手がけていただければ、高齢者でも簡単に食べることができ、食事の幅を持たせることもできると思います。以上です。</p>
伊予市歯科医師会	伊予歯科医師会が伊予医師会と共同して実施している事業です。今年は、10月20日(日)に松前総合文化センターにて、第17回「口から食べたい」講演会を開催予定であります。口から食べたいということにつ

	<p>いては、ホームページでも見ることができるのですが、一言でいったら、大抵は脳の障害でもぐもぐゴックンができなくなるんです。また、認知症になっても、いつまでもモグモグだけして、ゴックンができない。そういう方もいます。僕たち人間は、一瞬息を止めないと、ゴックンができないのです。ゴックンして、胃袋へ食べ物を流すルート、それから、息をして肺の方へ空気を流すルート。これが、咽頭で交差しているのです。ちょうど四つ角の信号が激しく点滅して、それを、あなたは空気、あなたは食べ物ということ判断して送る。このコントロールを脳がしているのです。脳が障害を負っていたら、それができなくなって、食べ物が肺に入ってしまう。それが誤嚥ですね。それを、なんとかしようとは一つは医療的に、チューブを鼻から入れて、経管栄養をする。一つは胃ろうといって、直接胃に栄養を流し込むことをします。これらは、その場限りの治療であって、その後回復する人がいるわけですから、その方に、もう一度口を通じて食べられるようにしなければいけないのですが、それが、1度経管栄養とか胃ろうになったら、なかなか元に戻らないのです。別に、食べることを忘れたというわけではないのですが、それには練習が必要なのです。どういうステップを踏んで練習したらいいのかや、介護食などについて、権威者を招いて、勉強会をしているわけ。それを毎年実施して、非常に面白い勉強会ですから、ほぼ満員に近い約600人の人たちが参加しています。その中には、医師、看護師、歯科衛生士、リハビリスタッフ、介護職など他職種がおり、関心を持って集まり、勉強しています。ひとつの専門分野で患者をなんとかしようとするには、知識が足りないのです。ですから、あらゆる職種の人々の知恵を借りて、そこで他職種でチームを組んで一人の人を助けていくという。そうすると、チーム作りというのでも必要ですし、どうすれば最大の力が発揮できるかと、僕たちの専門領域を超えた知識もいるわけ。そんな非常に総合的な勉強会です。もしご都合がよければ、是非いらしてください。以上です。</p>
<p>えひめ中央農業協同組合伊予営農支援センター</p>	<p>えひめ中央農協としましては、主食である、米についての食育というかたちで、活動をしています。伊予営農支援センターには青壮年部というのがありまして、地域的には、南伊予支部、もう一つは伊予支部ということで、二つの小学校の協力を得て実施をしております。一つ目は伊予小学校の5年生を対象に、もう一方については、北山崎小学校の5年生を対象にしております。そして、田植え、稲刈りということで実施をしておりますけれども、田植えに関しては、稲の苗1本からどのくらいのお米がとれるかという基本的なところから食育を始めまして、実際に児童に田植えをしてもらう。そして、今後稲刈りを体験してもらうというような取り組みをしています。これの問題といたしましては、天候が</p>

	<p>大きなポイントとなっております。南伊予では、サツマイモの植え付けを予定しておりましたが、ちょうど雨が続きましてなかなか定植ができなかったという事例もあります。</p> <p>また、学校給食の地産地消の取り組みということで、当農協におきまして、直販部門の太陽（おひさま）市がごございます。そして、太陽（おひさま）市の伊予市の出荷会員さんにご協力いただきまして、市内の4つの施設の給食調理場に伊予市産の農産物の納品をさせていただいています。取り組みとしては、以上です。</p>
<p>伊予市食生活改善推進協議会</p>	<p>失礼します。伊予市食生活改善推進協議会の取り組みについて説明いたします。</p> <p>伊予市食生活改善推進協議会では、伊予市食育1・4推進計画の推進に努めています。</p> <p>また、グループ伝達講習会を南山崎・北山崎、郡中A、郡中B、南伊予、双海、中山の6支部で月1回程度開催しております。</p> <p>その他に、今年度も、よい食生活をすすめるためのグループ講習会、おやこの食育教室、男性のための料理教室、糖尿病や高血圧をテーマにした生活習慣病予防事業、高齢者の低栄養予防、お魚料理普及講習会を実施します。</p> <p>次に、研修会ですが、総会及び研修会として、平成25年5月30日に開催いたしました。「食育から考える自立～子どもたちの未来を輝かせるために～」というテーマで、講師の先生に料理研究家&食育アドバイザー 中村和憲先生にご講演をいただきました。また、リーダー及びサブリーダーが、市の食育推進リーダー研修会へ参加しております。</p> <p>協力事業といたしまして、保健センターの夏休み親子ふれあい教室、初級料理教室、伊予市健康&福祉まつりへの協力いたしております。以上です。</p>
<p>伊予市生活研究協議会</p>	<p>伊予市生活研究協議会では、農村漁村の女性が作るグループであることから、地域産物を使った食育に重点を置いた活動を展開いたしております。</p> <p>食文化普及講座として、伊予市双海支部の方では、翠小学校などの児童を対象に、鯛めしやつみれ汁、筑前煮、さつまいものオレンジ煮などの郷土料理を伝承しております。また、地元のみかんをふんだんに使い、自分たちの手でジュースを絞り、飲むという体験もしていただいております。これは、年に2回予定しておりますが、先生たちの都合により、年1回の開催になることもあります。</p> <p>消費者との交流として、毎年、各地のイベントに伊予地区の生活研究協議会の人たちが出店して、枝豆入り米粉すいとんの実演販売や、グループの加工品の紹介、販売、レシピ紹介を通して、消費者と交流し、地</p>

	<p>域農産物や農業に対する理解を深めております。枝豆入り米粉すいとんは、参加者約 200 名に販売しておりますが、これは利益を求めているのではなく、伊予地区のそれぞれみなさんが作ったお米や枝豆を提供していただいて、地元のを勧めてみんなで食べようという目的でやっております。</p> <p>愛媛県生活研究協議会は、13 地区ありまして、会員が約 1700 名おります。年に一度、ふるさとづくり推進大会というのを開催しております。ここには、支援センターの方、県の方々消費者の方々約 500 名が参加する大きな大会となっております。この大会の前にパワフルママの元気市といった、東中南予の人たちが各グループで自慢できる商品を販売しております。その後講演会があり、昨年度は、子どもが自分で作った弁当を学校へ持って来て食べるという「弁当の日」を提唱している竹下和男先生だったのですけれども、とてもいい講演だったことを覚えております。今年度は心理カウンセラーの熊本園子先生に、高齢になってもまだまだがんばっていけるような、メンタルな内容のご講演をしていただこうと考えております。</p> <p>各種イベントの参画としては、大街道のマルシェや、三越と提携いたしまして、三越の地下に、愛媛県生活研究協議会コーナーを作っております。お味噌やお米や漬物、三越にはない、これという手作りのものを 1 年半前から置いております。</p> <p>愛媛松山産業まつりは、東中南予の方々が、お城山の下でそれぞれ実演販売をしております。</p> <p>伊予市生活研究協議会では、採れ穫れまつりといって、巻き寿司を参加した子どもたちに作って食べてもらうとか、簡単な漬物づくりの体験活動などしております。</p> <p>また、双海支部では、食文化普及講座やふるさと小包をしています。ふるさと小包は長い歴史がありまして、20 数回目になると思うのですが、それぞれのグループの味噌やじゃこ天など双海の味を全国発送しています。</p> <p>その他、各グループで独自の食育活動をしているのですが、カラーベジタブルさんは、今日来ている伊予農業高等学校の生徒とともに、漬物の実習、なぎさグループさんは、手作りじゃこ天の体験、菜の花グループさんは、豆腐作り体験、からたちグループさんは、自宅でのこんにゃく作り体験などをやっております。以上です。</p>
伊予市青年農業者協議会	<p>伊予市青年農業者協議会です。農産物の即売を通じて地元産の情報発信及び地産地消の推進を図るということで、各種農産物の即売で、いよし花まつり、土曜夜市、えひめ産業文化まつりなどイベントに参加しております。</p>

	<p>農業体験交流会は、女性を招きまして、交流会及び農村・農業への理解を深めていただこうということで交流会を実施しております。</p> <p>就農啓発交流会は、伊予管内における新規就農者の掘り起こしと育成に向け、伊予農業高校生を対象に管内の農業指導士、青年農業者の経営事例発表や意見交換を通して農業に対する理解を深めるという目的で実施しております。</p> <p>以上の3つは、今までに毎年行ってきたことなのですが、最近新しく始めたことで、のぼり旗・レジ袋に貼るシールの製作を行っています。農産物即売時に団体のピーアールと差別化を図ることを目的に製作してきました。伊予市産、青年農業者産であることを認識してもらうために良いと思います。この図柄は青年農業者の奥さんにデザインしてもらって製作しました。以上です。</p>
<p>上灘漁業協同組合 女性部</p>	<p>上灘漁業協同組合女性部では、町内外の小中学生を対象に、体験交流学习を行ったり、また、お魚ママさんを講師に、小中学生、一般を対象に年4・5回のお魚料理講習会を開催しております。</p> <p>また、夏まつりとか公民館のイベントにおいて、料理実演、展示試食等の魚料理の指導を行い、今後とも魚食の普及に努めたいと思っております。以上です。</p>
<p>双海地区グリーン ツーリズム協議会</p>	<p>失礼します。わたくしが普段働いているシーサイド公園の中の取り組みなのですが、7月8月に海の家を営業しております。従来の海の家とは別に、今年は地元から声が上がってきたのですが、地元の商工会青年部を中心とする10人ぐらいのメンバーで、男臭い、名前も男飯とかいう名前で、「海の家2」ということで、新たにメンバーで考案した新メニューの販売等を7月18日から8月24日まで営業しました。地元の活性化及び食育の推進にもつながるのではないかと考えております。以上です。</p>
<p>伊予市PTA連絡協 議会</p>	<p>失礼します。伊予市PTA連絡協議会です。</p> <p>これまでも各小中学校単位で学校と家庭における食育に関する取り組みをしています。伊予市PTA連絡協議会が各小中学校のPTAの連絡調整機関ということでございまして、協議会で独自の取り組みは今のところございません。ただ、今後、市内の小中学校間の食育活動について全体的な視点から意見調整を図っていきたく、その側面から支援をしてきたいと考えています。</p>
<p>伊予商工会議所</p>	<p>わたくし、商工会議所の職場におけます食育については特に取り組んでおりませんので、今回も私的なこととさせていただきますけれども、ここに提言させていただきました。</p> <p>わたくし、平成15年、10年前ですけれども、血糖値が高いと指摘をされました。その当時はヘモグロビンA1Cが10.7というような数字が出</p>

	<p>ました。そのあと、運動と食事制限をいたしまして、3 か月後に正常値まで上げることができましたけれども、当然のことながら、こういった急激なことでしたので、長続きはしておりません。それで、その後も今年の4月に再び血糖値が上昇いたしまして、今現在は改善をしているわけでございますけれども。現在では、無理をしない、継続できる運動、また食事療法ということで経過を見ております。</p> <p>糖尿病に関わらず、様々な病気において、食の見直しや運動によって改善される病気も多いと思います。市民の中で実体験での改善の事例もかなり多かろうと思いますので、これらの互いの情報を共有いたしまして、今後も継続した体質改善につなげていけたらということでここに提言いたしております。</p>
<p>伊豫國「あじの郷」づくり実行委員会</p>	<p>伊豫國「あじの郷」づくりの事業については、資料にありますように、平成25年度、伊豫國「あじの郷」づくり事業計画案という形で表示しております。</p> <p>わたくし個人としての意見ですけれども、今TPPの交渉に入っておりますけれども、たぶん、1つか2つ花を持たせていただいて、1勝14敗とか2勝13敗とかいう形で、井伊直助が開国した時と同じように、平成の不平等条約という形で、食の安全、それから医療制度、これが脅かされるような結果になろうかと思えます。特に食の安全に関して言いましたら、モンサントというアメリカの巨大企業が、これは例えば、遺伝子組み換えした食品を無制限に日本国内にも流通させるようなことになってくるんだろうなと思えます。この時に、食育ということは、単に我々が食わずという意味ではなくて、これからの子どもたちが本当に生きていくために、日本の国民の平均寿命を縮めないようにするために、彼らに武器を与える。彼らが主体的に食というものについて向き合って、自分たちの安全、家族の安全、そして地域の安全を守っていくようにするための武器になっていかなければならないと思っております。そのことと表裏をなすんですけれども、グローバル経済の中に叩き込まれていく我々が、地域の経済、地域の暮らしを投影していくということもやはり必要になっていく。そのための地産地消でもあると思えます。そういう意味で、非常にこれまでよりも、より真剣な切迫感を持った概念として取り組んでいく必要があると思えます。</p> <p>それと、わたしの意見の中に、キッズキッチンが、子どもが能動的・主体的に食に関わり合わせる契機だと書きましたけれども、今の超高齢化社会の問題は、今65歳が300万人を超えた、75歳も2000万人を超えた。その中の独居の男がですね、これが非常に社会問題になってくる可能性が強いので、彼らが食に関心を持って、食を通じてコミュニティーの中に入っていくということが必要になってくると思えます。それで、</p>

	<p>男に限らず高齢者、高齢の夫婦、独居老人そういう方々を含めたコミュニティーの中で食というものを考えていく。例えばコミュニティーカフェ、コミュニティーレストランそういうものを、行政を含めて、一つのモデルケースとして取り組んで、こういうものが普及していくように取り組んでいくべきだと思います。以上です。</p>
伊予農業高等学校	<p>伊予農業高校ですが、資料 6. 7 ページに紹介させていただいております。今年度の主な取り組みといたしまして、伊予市、松山大学との連携ということで、伊豫國「あじの郷」づくりからも支援をいただきました「i プロジェクト」ということで新たなメニューあるいは新商品の開発をさせていただいております。地元の産品を材料に、いろんなメニューを、すでに今年度第 1 回の試食会も開かせていただきました。</p> <p>新商品の開発の方では、はだか麦を使ったものということで、あじの郷五勇士のみかん、びわ、栗、鯛、ハモを混入したはだか麦パンを開発して、セット化できないかということもやっております。</p> <p>また、幼児とか小中学生に体験活動をしてもらって教育をすすめていこうということで、愛護班活動、特別支援学級との交流、幼稚園の幼児との交流もしています。また、生徒の方も研究活動としまして、安心安全な生産ということで、アイガモを用いた減農薬稲作、耕作放棄水田を活用した無肥料・無農薬の水稲自然栽培などを行っております。</p> <p>食育推進についての意見につきましては、それぞれ各団体今までの発表や説明の中にもありましたし、あとのものにもあると思います。素晴らしい活動をしていますけれども、それがまだまだ十分市民に理解していただいていない、見えていない部分が多いのではないかなという気がしています。そういったところで、もう少しこういった活動が見えるような形での催し物と言いましょか、伊予市健康福祉まつりの中に食育フェスタ等組まれているようですけれども、もう少し、もっと見えるようなもので、裾野が広がっていけばいいのではないかなということで、書かせていただきました。以上です。</p>
伊予地区学校栄養士会	<p>失礼します。8 ページをご覧ください。伊予地区学校栄養士会のほうでは、各学校で栄養教諭が食に関する指導を行っています。しかし、市内に栄養教諭は 6 名しかいません。6 名の中で、全員に食育をとがんばってはいるんですけれども、その中でも家庭課や特別活動等で食に関する指導を学級担任や教科担任と連携をして行っています。二人で食育を行うことで、子どもに個人差がある、特に家庭科に入らせていただいているのですが、包丁を持ったことのない児童もいます。実際に調理実習していても、ピーラーでのじゃがいもの皮の剥き方が分からないという児童も実際にはいます。その中で今取り組んでもらっているキッズキッチンというのは今後大きな成果になっていくのではないかなというこ</p>

	<p>とを今、感じております。</p> <p>その他にも、参観日等で食育の授業をすることで、保護者を巻き込んだ食育を展開できるように心がけております。また、学校のホームページ等を利用して、その日に食べた給食を保護者へ啓発するように心がけています。また、先ほどから出ておりますが、学校給食での地場産物の活用として、学校給食で、なかなかいろいろな制限がある中でも伊予市産のものを中心に購入できるように今態勢を整えている状態です。以上です。</p>
市民代表	<p>失礼します。市民代表とはなっていますが、3人の子どもの子育て中の、わたくし個人の意見を述べさせていただきます。キッズキッチンや学校給食に市内の特産物を使うなど、子どもに対する取組が効果的だと思います。実際に食事作りの主な従事者である30～50代の方々は忙しく、食育の勉強会などを開いても参加できないでしょう。だからこそ子どもたちに対して食育を行うことにより、子どもたちが各々の家庭に学んだことを持ち帰り、子どもを通して親も学ぶことができるのではないのでしょうか。学校で食べた特産品のこと、キッズキッチンで作っているときのこと、食べた感想等、子どもと話すことによって親が学ぶことができます。このような食育推進の方法が良いと思っております。また、イベントや交流会等で不特定多数の人々に対する特産品やふるさとの味を知ってもらい郷土愛を育むような取組が良いと思います。より多くの地元の人、また地元以外の人に知ってもらい、食べてもらって、味を覚えてもらうことが大切だと感じております。以上です。</p>
市民代表	<p>わたくしも、市民代表とはありますが、個人の意見として書かせていただきました。各家庭の外食利用頻度増加により、外食産業の繁栄へとつながった以前は、家庭（家族）の誕生日、父の日、母の日など特別な日のみ外食していましたが、昨今はモーニング、ランチから始まり、普段でも利用しています。この現状で家庭に及ぼす影響はどうか、利用率の多い県はどこかと、ふと興味を持ちました。</p> <p>今、子どもたちは幼稚園から高校に置きまして、塾に行っている子どもが多いです。部活動をして塾の始まる時間に合わせて夕食を取って塾へ向かいます。両親が共働きの場合、孤食と呼ばれる食事、例えば、カップラーメン、カップ焼きそば、お菓子、ジュース、パンを取っていることも多いと聞きます。その上、両親が仕事が遅くて家庭で食卓を囲むことができない家庭も多いと聞きます。孤食で栄養バランスを取るためには、何を考えて、どうしたらよいか。情報や知識などを広げていけばどうかと思います。以上です。</p>
市民福祉部子育て支援課	<p>子育て支援課でございます。9ページに書いていますように、市内保育所、公立が10か所ありまして、私立保育所が1か所合わせて、合計</p>

	<p>11 か所の保育所がありまして、食育だよりの発行、クッキング保育等の事業を、年間を通じて行っております。特に野菜などにつきましては、全保育所で野菜の苗から植えまして、収穫までということで、非常に食育に役立っているのではないかと考えております。また、今日、伊予農業高等学校の教頭先生もおいでしておりますが、学校との共同によります野菜の栽培なども行っております。あと、給食の現物を 2 園ではケースに実物を飾っておるところもありますし、写真を撮って、今日こんな給食食べたよということで、保護者の方にも見ていただくというようなことも行っております。以上です。</p>
<p>市民福祉部長寿介護課</p>	<p>長寿介護課です。長寿介護課の方では、二つの委託事業を行っておりますけれども、それについて簡単に報告させていただきます。まず介護予防事業でございますけれども、65 歳以上の高齢者を対象ということで、食生活について、栄養バランスや、飲み込みや食べやすい調理方法についての知識、口腔の健康について講話や実技により介護予防の実践が行っております。</p> <p>また、男性料理教室ですけれども、おおむね 65 歳以上の方を対象ということで、料理初心者の男性を対象に、栄養バランス、脂肪や塩分の取り過ぎに留意した調理実習を行って、健康維持につながっております。また、料理教室を通じて仲間づくりにもつながっているようでございます。以上です。</p>
<p>産業建設部農林水産課</p>	<p>農林水産課です。農林水産課では、伊予地区、双海地区において伊予市魚食普及活動事業を行っております。伊予地区では、伊予漁協女性部、JA 女性部等の各団体がお魚料理教室を実施し、非常に多くの方々に魚を食していただけるよう活動をしております。</p> <p>また、双海地域におきましては、漁協女性部、さらにはシーフード協議会がイベント開催時に地魚でありますハモ、シラス等を使った料理を提供して、幅広い方々に魚に関心を持ってもらおうという取り組みを行っております。以上です。</p>
<p>産業建設部農業振興課</p>	<p>農業振興課です。資料にあげております伊予市生活研究協議会、伊予市青年農業者協議会、伊予市双海地区グリーンツーリズム推進協議会については、すでに各団体からの報告がありましたので、省略させていただきます。本課では、協議会の担当事務課として、各団体の地産地消の活動を支援、充実させていきたいと考えております。なお、認定農業者協議会の方が今日欠席ですので、それについて少し触れたいと思います。</p> <p>資料 4 ページです。認定農業者協議会は、5 年後のその農家の農業所得の目標や農業従事日数とかの目標を掲げまして、それを達成すべく農業経営改善計画の認定を市のほうでさせていただいて、取り組んでおられます担い手農家の方でございます。認定農業者協議会の方は、そこに</p>

	<p>ございますように、安心安全な農作物を作るといふことの取り組みを行っていただいております。</p> <p>あと、本課では先ほど自己紹介のときに申し上げました通り、伊予市市場に農業振興センターを各組織と作っておりますので、農業振興センターで、JAや県の方の農業振興の中心となっております伊予農業指導官とともに、この地産地消について取り組みを進めていきたいと思っております。</p> <p>また、先ほど玉井委員さんからもありましたように、TPPの問題も農業振興課として非常に重要な問題であります。農産物が輸入自由化になりますと、本当に、地産地消、食物の安心安全が非常に危惧されておりますので、なかなか行政の立場としては反対しにくいのでありますけれども、わたくし個人としては、TPPは反対でございますし、安心安全の作物を守っていく立場で取り組みを進めていきたいと思っております。</p> <p>あと、市のほうでは環境保全型農業ということで、減農薬、減化学肥料の取り組みを進めておまして、今年度も3組の農家の方がこの事業に取り組まれることになっております。こういう取り組みを通じまして、当課では地産地消、安心安全な農作物の普及に今後も取り組んでいきたいと思っております。以上です。</p>
産業建設部商工観光課	<p>失礼いたします。商工観光課でございますが、本年度新設された課でございます。それに伴いまして、わたくしどもの課が、伊豫國「あじの郷」づくり事業の事務局を持っております。先ほど玉井実行委員長の方から説明がありましたが、資料は14ページにあります。伊豫國「あじの郷」づくりは、こういった活動をしているところでございます。二つほどピックアップさせていただきます。</p> <p>アイプロジェクトということで、先ほど伊予農業高等学校の大内教頭先生からお話がありましたが、精力的に伊予農の生活科学科、食品化学科の生徒さんに、メニューを開発していただきまして、実際に昨年は商品化されたものもあるわけなのですが、今年度ははだか麦を使った「はだか麦のパン」を開発いたしまして、伊予彩まつりなどでの、学校のオープンキャンパスにおいて試食等を行ってきているところでございます。詳細につきましては、今度の7号9月に発行予定でございますが、こちらの方に載せさせていただきますのでまたご覧いただきたいと思っております。そして、その「P@CKTTO (ぱくっと)！」につきましては、ご存知のようにお手元のほうに2冊ほど置いてありますが、こういったかたちで、年間4回ほど情報発信を行っているところでございます。その他のあじの郷事業につきましては14ページをご覧いただきたいと思っております。</p>

	<p>新たにできた商工観光課につきましては、観光パンフレットであるとか、各種イベントによります、食の情報発信を行っておるところでございます。簡単にいいますと、4月には伊予市の花まつり、6月には中山、双海でのほたるまつり、7月中旬には鱧まつり、双海の夏まつりがありまして、その次の週には中山の夏まつり、そして次の週は伊予彩まつり、そして、8月の3日4日にはトライアスロン大会というかたちで、多くのイベントを毎週手がけてきているところではありますが、こういった中でやはり、イベントにつき物でございます食べ物。いろいろな食べ物が出ていますけれど、やはり地元の産品を使った物を。各団体が精力的に作っていただき販売をしているところがございます。また、9月に入りましたら夕焼けプラットホームコンサート、23日には栗まつりも行いますので、こちらでも食の情報発信をしていけるのではないかと考えております。</p> <p>それから9月25日から3日間、こちらは、伊予市商工会議所に委託をしているわけでございますが、大阪事務所におきまして、伊予市観光物産フェアを開催いたしまして、食・物産・観光につきまして関西方面に情報発信を行っているところがございます。以上でございます。</p>
<p>教育委員会学校教育課</p>	<p>学校教育課ですが、そこに書いております通り、小中学校におきましては、学校給食ということで、リクエスト献立の実施、試食会の実施、地場産物の積極的な利用、米、野菜など伊予市産食材の導入、食育月間、給食週間における啓発活動などを行っております。学校給食につきましては、現在中山双海はそれぞれ給食センター、旧伊予市内につきましては5つの調理施設で提供をしているところでもあります。</p> <p>幼稚園につきましては、キッズキッチンの実施、クッキング保育の実施、栽培、収穫、料理などの体験活動、食事のマナーの向上や食事を作ってくれた人へ感謝の気持ちを持つというようなことで、取り組んでおります。</p> <p>みなさんご承知かもしれませんが、学校給食におきましては、それぞれの調理場を統合いたしました学校給食センターの建設を平成28年度供用開始を目指して進めているところがございます。供用開始後のセンター化にあたって、食育の推進をいかに進めていくかということを検討していく必要があると考えております。現在、南山崎小学校の隣接地を建設予定地といたしまして、建物のハード面について、本日ご出席いただいている委員さんの中にも、建設委員会というのを立ち上げまして検討していただいているところがございますが、ハード面が進みましたら、ソフト面についても引き続き検討をして参りたいと思っておりますのでご協力よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>教育委員会社会教</p>	<p>教育委員会社会教育課です。社会教育課においては中央公民館をはじ</p>

育課	<p>め、伊予市に 6 館あります各地区公民館において、児童、高校生、成人、女性、高齢者と幅広い対象者に対しまして料理教室やお菓子、おやつ作りの教室など料理体験を実施しております。それをすることによって、食に関する知識を習得し、自らの食を自分で選択する判断力等を身につける手助けをしていきたいと考えております。以上です。</p>
中国四国農政局松山地域センター	<p>すみません。予定にないのですが、松山地域センターの森です。よろしくお願ひします。先ほど事務局のほうにご無理を言ひまして、発言の機会をいただきました。今日、みなさんのお手元にお配りしております「第 1 回食と農林漁業の食育優良活動表彰」というのがあるかと思ひますが、ちょうどわたくし、これの啓発をしておりまして、先ほどもここに来る前に、太陽（おひさま）市と伊予農業高等学校とコープえひめに寄ってまいりました。太陽（おひさま）市は、久保田部長が同級生でして、伊予農業高校は石田先生をよく知っているの、行ってまいりました。太陽（おひさま）市には、このお話と、「おしん」のポスターを張っていただきたいと行ってまいりまして。今日の食育推進会議の皆さまは、食育活動をしている方ですので、「第 1 回食と農林漁業の食育優良活動表彰」に応募したら、4 名のかたが受賞できます。わたくし、いろいろ 10 件ほど回りましたが、2 件くらいは応募してくれるのではないかなという感触をもっております。まだ知名度がないので、今年はチャンスですので、一度応募してください。裏側の下から 2 番目に応募方法にと書いてありますが、ここに書いてあるように「農水 食育」と打つてもそのページは出てきません。農林水産省のホームページに入つていただきまして、「食育」とだけ打つてください。「食育」と打つてもらいましたら、一番上の段に、応募要領とか、申込用紙ですとかございますので、そこをご覧になってください。応募用紙は、4 枚ものでして、いろいろ、始められた動機とか、経緯とかをそれらを書いて応募していただいたら、ひょっとしたら、受賞できるかもしれませんので、ホームページが見られる環境の方は、是非とも一度行ってみてください。よろしくお願ひいたします。以上でございます。</p>
事務局	<p>すみません。事務局の方から付け足しですが、今日都合で欠席された松浦委員が 4 ページ、谷本委員が 7 ページ、森委員 9 ページにご意見をいただいておりますので、お目通しください。それから、食育推進連絡会の方の、中山地域事務所長からも 12 ページに取り組みの報告がありましたので、ご確認よろしくお願ひします。</p>
議長	<p>盛りだくさんの報告がありましたけれども、どなたか。たくさんあつて戸惑うかもしれませんが、2、3 質問を受けつけます。</p> <p>わたしから一ついいですか。大内先生、伊予農のアイガモを使つての稲作。カモを飼つているのですか。</p>

委員	失礼します。はい。アイガモ農法ということで、一定時期だけなんですけれども、生物工学科の生徒が田植えをした後に、アイガモを放ちまして、カモに雑草を食べてもらうとかいうようなことで、穂が出る手前まで放ちています。そのカモはあと引き上げて畜舎の方で飼いまして、2学期の終わりには今度それを食べるということで、生徒に命の大切さ、食、命をもらって食べていくんだと、実際に生徒に絞めさせて、さばいて、そこまでやらせています。授業の中で、取り組んでいます。
議長	それは、もう、何年も前からですか。
委員	はい。もうかなり前からです。
議長	他どなたか。双海町の男飯。あれは、どんなものを作るのですか。
委員	ちょっと創作的な料理だったのですよ。例えば、バナナにベーコンを巻いて、焼いて提供するとか。メインは焼きそばだったのですが、やたら、にんにくの芽とか、ソースもガーリック風味でかなり、近くによれないとかいう料理ですね。イメージでかなり男臭さを出そうという、かなり遊び心が入ったグループだったので。もう一つ、ハンバーガーのパンの代わりにハンバーグで、ハンバーグ、肉、ハンバーグみたいな感じのものも提供していました。以上です。
議長	他どなたか。それでは、だいぶ時間も来ましたので、議題3に移ります。食育フェスタ・食育コンテストについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3 食育フェスタ・食育コンテストについて説明
議長	これについて、どなたかご質問はありませんか。ないようですので、次、議題(4)としまして、今まで各委員の方々にご報告いただきましたが、報告しながら、問題点が見えてきたり、ご質問その他がありましたら、自由にご発言をお願いいたします。いかがですか。 どうもご意見も出尽くしたようですので、進行を事務局の方へ、お願いいたします。
司会	坂本会長さんにおかれましては、長時間にわたり、議事進行、大変お世話になりました。最後にその他の項目ですけれども、何かございますでしょうか。
事務局	すみません。事務局から一つあるのですが、今日の資料はファイルに閉じて、次回の会議の時にも持参するようにお願いいたします。次回の会は、2月ごろに予定しています。
司会	先程事務局からも説明がありました通り、次回第5回伊予市食育推進会議は来年の2月ごろを予定をしておりますので、よろしくようお願いいたします。その他ありませんか。
委員	あの、これ本当は意見交換のところで発言すればよかったのですが、なかなか皆さんの意見がたくさんありまして、どなたのどの意見を

	<p>焦点にというのが、ちょっと言いにくかったのですけれども。事務局にお願いしたいこととして、せっかくですから、何か論点的なものを出していただいて、それに対してもう一度、せっかくのたくさんの委員から、それに対する意見を聴取するというような形をとれば、発展的に物事が進んでいくのではないかなと。論点が深まっていくのではないかなと思うのですが。もしよかったら、今日今すぐ意見がでなくても、また追加の意見という形ででもですね、発表できる機会があればいいなど。次回にそういうことが出来れば、会議がもう一ランク上のレベルで、お話ができるようになるのではないかと思います。もしよかったらそういう風なことをお願いします。</p>
事務局（亀岡課長）	<p>玉井委員さんの方から、会議のレベルアップということでご意見もありましたので、次回の会議はそういう資料の作成もしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。その他ないでしょうか。特段ないようですので、会を閉じさせていただきたいと思えます。</p> <p>皆さまにおかれましては、熱心な意見交換等、ありがとうございました。皆さまからいただきました意見を念頭におきまして、今後の食育の推進に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆さまのご協力をよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第4回伊予市食育推進会議を閉会いたします。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。</p>